

# 生徒指導栄養

～ 生徒指導を進めるための栄養源に ～



## #18 【児童生徒に欠席が続いたときには】

児童生徒に欠席が続いたときには、電話だけでなく、家庭訪問するなどして、教職員自身が直接会って話をすることも必要です。家庭訪問で目指すのは、児童生徒や保護者との信頼関係を築くことです。

児童生徒に「心配しているよ」というメッセージを伝え、保護者の不安や心配事に寄り添うことが、信頼関係を築く第一歩になります。



今回は、「一人一人の社会的自立に向けた児童生徒支援ガイドブック～総合的な長期欠席・不登校対策～」（令和6年3月 埼玉県教育委員会）に記載されている家庭訪問するうえでのポイントの一部を紹介します。



アポイント	保護者の意向も確認しつつ、児童生徒の緊張が和らぐ放課後の時間を選ぶなど、会いに行く時間を検討します。
訪問前	担任だけが抱え込むことなく、可能な限り複数人で対応します。
訪問中	興味関心があることなど、本人が話しやすい話題を大切にします。
訪問後	訪問後も、保護者に連絡し、その後の本人の様子を尋ねます。

令和6年5月21日（火）

呉市教育委員会 学校安全課 生徒指導グループ



